

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学部
Publication year	2008
Jtitle	慶應の法律学 民事法 : 慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集 (2008.) ,p.v- vii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=BA88453692-00000004--004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

発刊の辞

国分良成 i

市民後見人養成の現状と課題……………新井 誠 1

民法（債権法）改正論議と債権譲渡規定のあり方……………池田真朗 25

留置権「占有要件」考（民法二九五条論）……………斎藤和夫 49

——最高裁平成一八・一〇・二七／二小決の「問題性」——……………

民法九四条二項の類推適用に関する判例の表現について……………

——「類推適用」と「法意」の異同問題を基点として——……………七戸克彦 81

ドイツ法における財貨帰属の理論……………	水津太郎	125
不法行為債権の消滅時効をめぐる比較法的一瞥……………	平野裕之	165
——立法論的考察の前提として——……………		
「第三者の詐欺」と「第三者の強迫」の区別に関する批判的検討……………	前田美千代	197
——ラテンアメリカ諸国の民法典を参考に——……………		
環境共有の法理への一視点……………	松尾弘	247
——地域コミュニティによる財産管理に焦点を当てて——……………		
著作権事件の解決……………	小宮山宏之	277
建築設計図書と建築物の著作権……………		
——裁判例を中心として——……………	日向野弘毅	305

不招請勧誘規制の再構築

——迷惑メール規制を中心として——

.....宗田貴行

編集後記